

# 公益財団法人 ひろしまドナーバンク

## 平成29年度事業実施報告書

(平成30年 3月31日)

本年度は、従来の活動に加え移植医療に関する知識の普及啓発を中心に、更に理解を深めてもらうための活動に取り組んだ。

献眼の推進に関する事業では、ライオンズクラブ会員に対して「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催するほか、出前講座を例会等で行い、献眼及びアイバンクサポーターとして協力を仰ぐための知識向上に取り組んだ。そのほか、献眼摘出協力医の募集事業へ、ライオンズクラブから特別な寄附を頂戴し、角膜摘出研修会を開催するほか、必要な摘出機材の購入を行った。さらに、広島県内の主要郵便局115カ所にアイバンクポスターの貼付を依頼した。

移植医療の推進に関する事業では、本年が臓器移植法施行20周年に伴い、グリーンリボンキャンペーンを実施し、街頭キャンペーンやライトアップ等のほか、地域でのイベントに参加するなど一般県民への啓発活動を行った。また、広島県行政の協力のもと、大学、高校、専門学校へ移植医療に関わる出前講座の開催を行うとともに、広島県看護協会の一般教育研修に参画した。

造血幹細胞移植の推進に関する事業では、例年同様、ボランティアや協力団体等の連携強化を図り説明員確保への取り組みを行うほか、骨髄ドナー登録者確保のため広島県赤十字血液センターの協力のもと固定施設等でのドナー登録会の開催を行った。

そのほか「ドナーバンク支援自販機」の設置促進への協力を仰ぎ、安定した財源確保に取り組んだ。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

## 管理部門

特別な寄附を頂戴するほか、従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄附金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱、「ドナーバンク支援自販機」からの浄財により事業に取り組んだ。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

### 1. 一般寄付金

11,545,575円

社会貢献自販機	4,619,299
ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区	3,000,000
ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区 (摘出器具・ラボ研修会)	1,597,459
山代浩人	500,000
浅原利正	300,000
宮川眼科	112,000
医療法人社団仁慈会 安田病院	100,000
三嶋弘	100,000
木村眼科内科病院	100,000
保久早苗	100,000
医療法人仁光会日谷眼科	100,000
第13回日本移植・再生医療看護学会学術集会	100,000
重河康弘	85,000
高陽中央病院	72,000
広島市医師会	60,000
うえ眼科	43,000
すぎもと眼科	42,000
中野徹	42,000
久保木香織	32,000
医療法人社団稲垣胃腸科外科クリニック	30,000
医療法人みなみ会星野外科クリニック	30,000
日本イーライリリー株式会社	30,000
柳昌秀	22,000
医療法人千草会すやまクリニック	22,000
内河内加代子	20,000
MSD 株式会社	20,000
庄原赤十字病院	20,000
社会医療法人千秋会井野口病院	20,000
ノバルティスファーマ株式会社	20,000
石本達郎	20,000
中外製薬株式会社	20,000
ボランティア口座 36 件	19,817
藤堂眼科医院	13,000
ひがき眼科	12,000

宮田章	12,000
医療法人広和会 福馬外科病院	10,000
因島医師会病院	10,000
山本薬品株式会社	10,000
大塚器械株式会社	10,000
医療法人社団たかし会尾鍋外科病院	10,000
前田清子	10,000
広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院	10,000
帝人ファーマ株式会社	10,000
医療法人社団光仁会梶川病院	10,000
株式会社ヤクルト本社	10,000
一般社団法人日本血液製剤機構	10,000

○ドナーバンク支援自販機による寄附金 4,619,299円

設 置 場 所	台 数	金 額
広島大学病院敷地内 (広仁会館・喫煙所前・霞体育館・中央診療棟・管理棟)	5台	1,474,768
広島市立安佐市民病院	2台	567,827
●メリーホスピタル工事現場	1台	437,071
中国労災病院	1台	382,077
(株)福屋	2台	344,917
★木村眼科内科病院 (1階ロビー、4階ロビー)	2台	301,152
戸田工業(株) (大竹工場2、創造センター1)	3台	198,022
市立三次中央病院 (救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横)	3台	181,291
医療法人社団仁慈会 安田病院	1台	150,490
株式会社NISHIKI タクシー	1台	109,626
(株)ヒロテック (ドーム) *6月設置	1台	109,079
★二階堂眼科	1台	92,148
広島市医師会	1台	87,696
(公社)広島市身体障害者福祉団体連合会 (広島市立リハビリテーション病院) *11月設置	1台	49,659
広島県医師会館	1台	40,958
つまもと眼科	1台	27,031
荒木脳神経外科病院	1台	25,652
松村循環器外科	1台	16,831
広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院	1台	11,245
安佐医師会館	1台	7,373
寺家駅 (株)エムケイ興産) *3月設置	2台	4,106
★メリーホスピタル *3月設置	1台	280
合 計	34台	4,619,299

注) ★印はアイバンク仕様の自販機、それ以外の自販機は臓器用のネットワーク仕様のもの

●印はラッピングなしの通常仕様

## 2. 募金箱（33施設）

567,883円

施設名	金額	施設名	金額
土谷総合病院	48,308	古吉眼科医院	12,215
井之川眼科医院	41,975	セントラル眼科	11,964
藤武眼科	40,869	小島病院	11,943
石田眼科医院	35,401	つるが眼科	10,564
森本医院	35,180	福馬外科病院	10,206
竹田眼科医院	34,374	児玉眼科医院	7,837
ひとみ眼科	28,197	尾道クリニック	7,673
三好眼科	27,916	奈良井眼科	7,347
かたぎり眼科	24,851	たんきょう眼科	6,915
つまもと眼科	20,049	山代眼科医院	6,798
藤原眼科	20,014	加藤良隆	6,471
海田市薬局・岸本眼科	19,446	本郷中央病院眼科	5,177
木村神経内科クリニック	18,179	吉田眼科医院	4,899
みやた眼科	16,090	おの眼科	3,049
木村眼科内科病院	14,070	木阪クリニック	2,918
眼科日山医院	12,870	本通眼科	1,784
阿品土谷病院	12,334		

## 3. 賛助会員 2,890,000円

法人会員 163口（1,630,000円）

個人会員 420口（1,260,000円）

## 事業部門

### I. 献眼移植のあっせん事業

#### 1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

本年度は、新たに広島県内の主要郵便局115カ所へ貼付の依頼を行った。

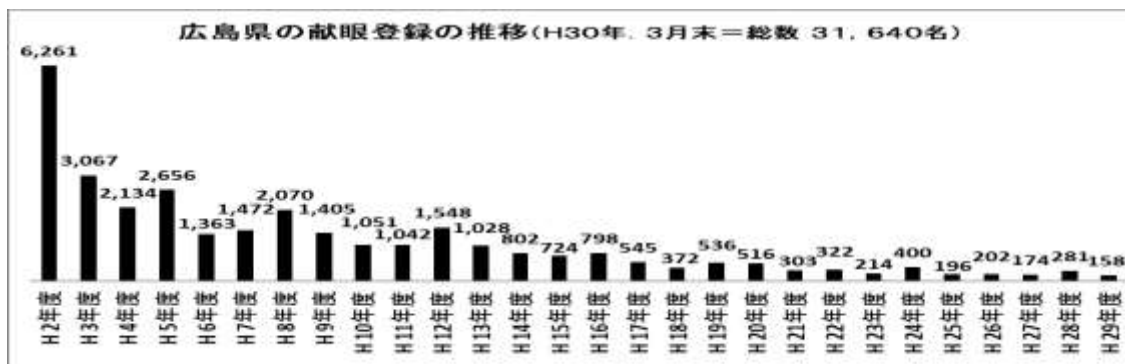
◎献眼ポスター（郵便局配布含） 415部購入（日本アイバンク協会）

◎献眼パンフレット・献眼登録申込書 作成なし（平成28年度作成分に対応）

②ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。

平成29年度の新規登録者は、379名であるものの、死亡・取消などにより、実質158名増の状況である。

<b>広島県の献眼登録者</b> (3月末)	<b>31,640名 (158名増)</b>
前年度末登録者数	31,482名
新規登録者数	379名
献眼者数	22名
取消数(転出・死亡等)	199名
3月末登録者数	31,640名



## 2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第2号)

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、角膜の障害による患者からの募集登録を行った。本年度も登録及び管理業務は直接バンクが担当した。

<b>広島県の角膜移植希望者</b> (3月末)	<b>60名 (27名減)</b>
前年度末 手術希望者数	87名 (87眼)
新規 手術希望者数	47名 (47眼)
移植角膜数	36名 (36眼)
希望取消数	38名 (38眼)
3月末 手術希望者数累計	60名 (60眼)

【全国移植希望者総数=1,624名、全国第8位】

## 3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

ご提供頂いた角膜は保存眼等を含み県内2施設と県外1施設にあっせんした。

- ① 献眼数 22名 43眼 (保存眼等8眼)
- ② あっせん数 37眼 (前年度保存眼2眼使用)
- ③ あっせん先
  - ア 県内(36) ; 広島大学病院(20)
  - 木村眼科内科病院(16)
  - イ 県外(1) ; 鳥取県

### ◆全国及び広島県の献眼状況

献眼者数	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
全 国	880	846	828	869
広 島 県	16	24	27	22

【全国第10位】

#### 4. 角膜摘出協力医に関する研修会の開催

献眼が発生した際の協力をお願いするため、統一した摘出手技（角膜片のクオリティを確保）を習得すること、摘出協力医の業務をご理解いただくことを目的とした研修会を、ライオンズクラブと広島県眼科医会、広島大学病院の協力を得て開催し「献眼協力施設認定証」及び「献眼協力医認定証」を発行した。

○日 時：平成29年6月24日（土）午後4時～

場 所：日本アルコン ウェット・ラボ（参加者：9名）

○日 時：平成29年9月 2日（土）午後4時～

場 所：広仁会館 中会議室（参加者：10名）

#### 5. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などでホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行い、敬意を表するとともに、弔電、花輪をお供えて弔意を表明した。また、同様の方法により厚生労働大臣感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

①献眼者 22名（厚労大臣感謝状伝達16名）

②献腎者（脳死提供含む） 3名（厚労大臣感謝状伝達 2名）

## II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

#### 1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動に啓発パネル、幟の貸し出しなどを行うことにより普及啓発活動を行った。

◎パネル利用状況 角膜 6回 腎臓 0回

呉うるめLC(4/28～5/1)、南区勉強会(5/26～5/29)、東広島あきつLC(9/9～9/13)、竹原LC(9/29～10/2)、目の健康講座(10/29)、呉安浦LC(11/17～11/20)、

◎角膜のぼり利用状況 10回

廿日市LC(4/1～4/3)、呉ブルーLC(4/17～4/21)、呉うるめLC(4/28～5/1)、広島ニューLC(5/2～5/8)、山県加計LC(5/19～5/22)、南区勉強会(5/26～5/29)、庄原LC(8/24～8/28)、三原久井LC(10/27～10/30)、目の健康講座(10/29)、三次シニアLC(11/17～11/20)、

◎移植医療（臓器用）のぼり利用状況 1回

グリーンリボン街頭キャンペーン（本通り商店街）(10/16)

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」にて、パネル展の開催、献眼についての情報提供及び献眼登録ブースを設置するほか、日本アイバンク協会普及啓発DVDを上映し啓発に努めた。

日 時：平成29年10月29日（日）午前11時～

場 所：広島国際会議場 B2階

- ③ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を広島市にて開催した。

日 時：平成29年10月19日（木）午後2時～

場 所：広仁会館 2階 大会議室

出席者：受講者72名＋役員

- ④保健所、市町などの健康祭りへ参加し、パネル等啓発グッズの貸出しとともに、広島県臓器移植コーディネーターが自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。

因島総合病院内健康祭（7/29）、府中市市民健康&福祉まつり（10/8）、

三原市民健康福祉まつり（10/28）、安佐市民病院健康まつり（11/11）、

おのみち市民健康まつり（11/12）、熊野町健康まつり（1/21）

- ⑤出前講座により、医師、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い移植医療の普及啓発を行った。

県立広島大学看護学科（6/30）、広島国際大学看護学部（11/2）、

広島文化学園大学看護学部（11/29）、尾道市医師会看護専門学校（12/5）、

進徳女子高等学校（1/12）、広島市医師会看護専門学校（1/22）、

呉共済病院看護専門学校（1/23）、呉医師会看護専門学校（2/6）、

三次看護専門学校（2/22）、皆実高校衛生看護科（3/2）

- ⑥出前講座により、献眼・角膜移植に関する普及啓発を行った。

キャビネット研修会（6/12）、三原久井LC（10/5）、

三次シニアLC（11/27）、尾道因島LC（12/20）、

- ⑦厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「臓器移植の普及啓発功労者」（厚生労働大臣）

○山代 浩人 ひろしまドナーバンク前監事

ii 「普及啓発活動功労者」（広島県知事）

○山陽女子短期大学赤十字奉仕団（SRV）

- ⑧移植医療教育の導入推進のため、広島県内の医療大学、看護学校等に移植医療教育の状況についてアンケート調査を実施した。

- ⑨広島県看護協会での移植医療に関する講座開設のため、企画、講師調整、手配等の支援を行った。

日 時：平成30年1月20日（土）

内 容：一般教育研修「臓器移植における基礎知識」

臓器移植、看護師の役割、角膜移植について

## ⑩その他の啓発活動

ア. 献眼及び臓器移植に関するドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、ポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行っているが、設置台数は、新たに「株式会社福屋2台」「ヒロテック1台」「広島市立リハビリテーション病院1台」を設置していただき、34台の設置となった。（前年同時期27台）

イ. マスコミ各社へ移植医療の普及協力を依頼した。

（中国新聞・広島テレビ・ホームテレビ・TSS等）

## 2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①(公社)日本臓器移植ネットワーク並びに、(公財)日本骨髄バンクから提供を受けるポスター、パンフレットの配布とともに、(公財)日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布して県民への啓発活動を行った。特に、公共施設、団体への取り組みとして、「ポスター」の貼付と「チラシ」の配布による普及活動を行った。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」（2万部）を発刊。

ii. アイバンクポスターの郵便局への貼付（115カ所）

iii. グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会5,474枚、広島県バス協会3,000枚、自動車教習所100枚、県内図書館（8施設）、提供病院に普及啓発展示ブース開設（23施設へ依頼）

ア 「臓器提供意思表示カード」の配布 1,625部

イ 「グリーンリボンドライバーステッカー」の配布 9,000枚

ウ 「グリーンリボンキャンペーンポスター」の配布 3,000枚

エ 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ資料を作成し提供した。

## 3) 普及啓発行事の開催・参加

10月の臓器移植普及啓発月間並びに骨髄バンク普及推進月間行事を中心にNPO法人広島県腎友会、骨髄ボランティア団体などとの連携の中で、移植医療の推進に係る活動を展開した。

①骨髄バンク普及推進月間では、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

○と き：平成29年10月10日（火）～10月15日（日）

○ところ：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

○内 容：パネル展、ボランティアおよびスライリーによる風船及び

チラシを挟んだティッシュの配布、集団登録会（新規登録者29名）



②日本移植・再生医療看護学会（主催：広島大学病院看護部）の市民公開講座に企画・協力を行った。

○日 時：平成29年11月11日（土）午後3時40分～

○場 所：広島国際会議場 B2階

③ひろしま国際平和マラソンにて、移植医療をデザインとしたTシャツを着用し、ドナー、レシピエントが参加し、完走することにより、移植医療の普及啓発活動を行った。また、主催者の協力のもとブースを設置し、パンフレット等の啓発グッズを配布するほか、移植に関する簡単なグリーンリボン検定を実施し、カープ球団の協力で作成したオリジナルピンバッチを配布した。

○日 時：平成29年11月3日（火・祝）コカコーラウエストスタジアム

○企画名：ひろしまグリーンリボンマラソン2017

④グリーンリボンキャンペーンにて、施設のライトアップやパネル展、パンフレット等の配布、グリーンリボンバッチの着用などにより普及啓発を行った。

○本通り商店街の協力により、アーケードのライトアップ及び街頭キャンペーンを開催し、パンフレット2,000部の配布を行った。（実施日：10月16日）

○リーガロイヤルホテル広島の協力により、グリーンリボンバッチの着用及び、ポスターの貼付、パンフレットを設置いただいた。（期間：10月）

⑤広島市デジタルサイネージ事業のご協力を得て、広島市内電光掲示板等での移植医療普及映像を放映した。

⑥臓器提供病院での移植医療研修会の出前講座チラシの配布

○平成29年度医療安全研修会内で相談等を実施するほか、研修会の出前講座チラシを医療安全管理者等250名に配布した。（実施日：3月1日）

## 2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業 (定款第4条第7号)

### 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①説明員養成研修会を開催し、広島国際大学しずくから新たに41名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会（5/10=20名・5/17=21名）、イ 実地研修会（適宜）

②説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から新たに25名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

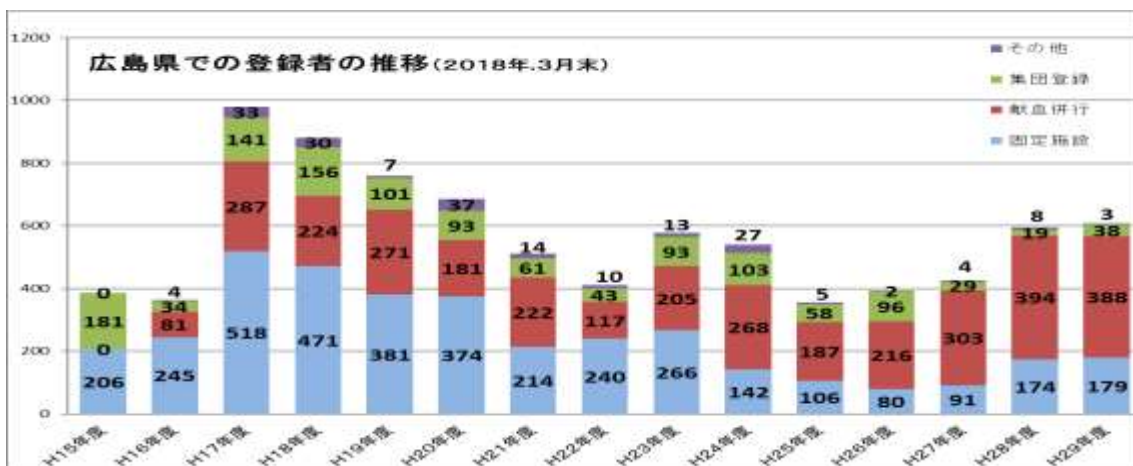
ア 養成研修会（4/13=10名・7/6=15名）、イ 実地研修会（適宜）

③骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。

新規登録者426名(平成30年3月末現在)

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	1回	2回
	登録者	19名	38名
献血併行型登録会	回数	44回	45回
	登録者	394名	388名
合 計	回数	45回	47回
	登録者	413名	426名



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数(平成30年3月末現在)

区 分	全 国	広 島 県	
		実 数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	483,879 (85.3)	8,356 (全国第18位)	68.7 (全国第30位)
患 者 登 録 者 数	3,715 (国内1,312)	28 (全国第15位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	21,788 (国内21,519)	621 (全国第10位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	21,796 (国内21,608)	547 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

④骨髄提供・移植に関する出前講座を開催し普及啓発活動を行った。

- 山陽女子短期大学(4/13、7/6)
- 広島国際大学(5/10、5/17)
- 比治山大学(6/21)

### Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

#### 1. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

(定款第4条第7号)

##### 臓器移植の推進に関する事業

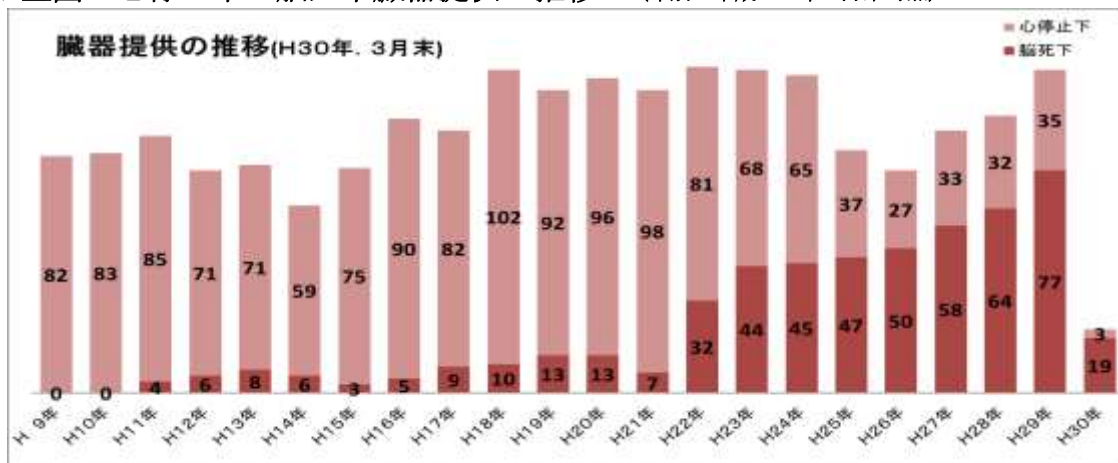
一般県民の臓器移植に関わる意識の醸成と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組んだ。

特に、JA尾道総合病院にて院内体制整備を図るためのマニュアル作成に向けての必要な対応に従事した。

##### ◆献腎登録者 9,010名 (35名減)

前年度末登録者数	9,045名
新規登録者数	3名
献腎者数	3名
取消数(転出・死亡等)	35名
3月末登録者数	9,010名

##### ◆全国の心停止下・脳死下臓器提供の推移 (年別：平成30年3月末時点)



##### ◆腎臓提供者数と腎移植者数と腎臓移植希望登録者数 (年別：平成30年3月末時点)

###### 臓器提供数(年計)

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
脳死下提供数	全国	47	50	58	64	*77	19
	広島	2	0	1	2	2	0
心停止下提供数	全国	37	27	33	32	35	3
	広島	1	2	0	0	1	1

(\* 脳死下の内、脳死判定後に臓器の提供に至らなかった件数:1件を含む)

## 腎臓の提供数と移植数(年計)

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
腎臓移植希望 登録者数	全国	12,757	12,725	12,825	12,828	12,449	12,524
	広島	276	282	276	284	276	276
腎臓提供数	全国	82	70	86	91	102	21
	広島	3	2	1	2	3	1
腎臓移植数	全国	155	127	167	177	198	41
	広島	7	4	2	7	4	2

### 1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を行い、臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事するほか、院内体制の整備等についての協力を行った。

#### ①対象施設 27施設

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、廣島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、J A尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、五日市記念病院、土谷総合病院、中国中央病院、広島J R病院、安芸津病院、山田記念病院

#### ②訪問総数 58回

### 2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会 1回

②院内コーディネーター研修会(7/5, 12/4, 2/26) 3回

③院内コーディネーター研修会(施設ごと) 5回

尾道市民病院 脳死下机上シミュレーション(5/26) 参加者 20名

広島市民病院(6/3) 参加者 20名

県立広島病院 OP室研修会(10/18) 参加者 10名

安佐市民病院 OP室勉強会(12/14) 参加者 10名

安佐市民病院 心停止下勉強会(12/14) 参加者 15名

#### ④臓器提供時の検視に係る研修会

広島県警察学校での移植医療講義(10/19) 参加者 30名

### 3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動

①院内研修会・勉強会への支援・協力(説明会など資料提供、随行も含む)

②臓器提供マニュアル作成、臓器提供シミュレーション実施への協力

③病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 ほか

#### 4) コーディネーター研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが公社) 日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質の向上に努めた。

- i 日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会 (東京) 5回
- ii 中国四国コーディネーター会議 (岡山・松山・高松・岡山) 4回
- iii 日本脳蘇生学会 脳死判定セミナー (福岡) 1回
- iv 日本移植学会 (北海道) 1回
- v 日本臓器保存生物医学会 院内C o 研修会 (大阪) 1回

#### 5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、公社) 日本臓器移植ネットワークの指導のもと、円滑な提供に資するため、次のような業務に従事した。

- ①臓器提供可能家族への移植医療の意義等についての説明に従事
- ②院外の摘出チーム及び移植チーム、県警等との調整に従事
- ③摘出臓器の搬送業務に従事
- ④臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施

#### 6) 腎移植希望者の登録及び更新受付業務への協力

献腎移植希望者の登録等については、公社) 日本臓器移植ネットワークにおいて行うこととされているが、当バンクとしても広島県臓器移植コーディネーターの業務の中で必要な協力を行った。

## 2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業 (定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- ①角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- ②献眼の推進に関する打合せ
- ③臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ④臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ⑤臓器搬送 (消防・警察・広島県) に関する打合せ
- ⑥骨髄ドナー登録に関する打合せ